

題材法話

○池上彰さん

まぎらな問題といえ、さ
く解説として下さるジャナ
リストとして有名で、膨大
な量の著作もあり、大
余談ですが、池上さんに
は7年前から龍谷大学で特
別講義（年1回）を開講し
て頂いており、本講座が同
窓会の寄付講座であること
から、同窓会副会長の小職
は池上さんと食事やお話し
をする機会を毎年頂いてお
ります。

池上さんは、著書「宗教
が、分かれれば世界が見え
で、宗教から世界がニュー
ス、を解説されても大変に
宗教に深く関心です。造詣
が深い方です。

リスト世界の三大宗教（キ
教）を中心としたその教義に
対する知識を、中心にその
でなく、

実際に宗教に、

その際に、

か教生、



講義前に池上氏と談笑
於 龍谷大学大宮学舎本館

て、いる人々の現場に足を運
び、理解を深めておられま
す。まさにジャーナリスト
としての本領を発揮されて
います。

その池上さんが、さまざま
な世界の宗教を学んだ上
で、一私には結局仏教徒なの
かと思えるようになったこと
と仰っています。そのこと
が著書「仏教って何ですか
？」に記載されており、大
変示唆に富んだ内容なので
簡単に紹介致します。

○一神教と仏教との世界観
の違い

まず池上さんは「私はど
の宗教を信じるでもない私
の授業で日本人に育ち、高
校の授業でキリスト教に関
する課題が出て初めて、新
書の主題が読んだが、この
世のすべてを創った神様が
いるという考え方がしつく
り、この間ま大人になりま
した」と回顧されています。

外に行き、機会が増え、宗
を意図せず、得なくなる
中で、「教える」として自分
しづくは、ないのか、と第
う、教えるは、ないのか、と

り、それは「キリスト教や
イスラム教といった唯一
対の神を信じる人達にと
ては、その神を信仰しない
宗教など認められない、異
教徒は敵だ」ということ
りや、宗教だけが原因では
す。宗教だけが原因ではあ
りません。宗教だけが原因
るもの同士が、一神教を信
戦争を引き起こしてきまし
た。主といたが「一神教で
創造」という存在を想定
せず、すべての現象は原因
と結果の連なりである因果
で成り立つていて、安心し
れる教えに、「安心して心
を委ねられ、思想」と感じ
たから、だそうです。

ある「縁起」による世界観
が、自然なことで受け入れ
られ、ライ・ラマ法王との
○ダイ・ライ・ラマ法王の
会

池上さんは「仏教の世界
観は、受け入れられて、い
ても受け入れられ、仏教
には懐の深さを感じます」
必ずしも原因がある。実
な態度です。私が科学的

心地よいと感じるのは、そ
の寛容さとともに、科学的
な姿勢を持つて、仰つて
ます。

そして池上さんの仏教へ
の理解を決定づけたのは、
チベット仏教ダライ・ラマ
法王との出会いです。

法王との出会い、法王と対
を重なる中で、「法王との
出会いは、生きている人
く教え、生きていく上
での道しるべ、あるいは
明と確信で、生きている
だと確信でき、仰つてい
ました」と仰っています。

○仏教の本質

また池上さんは、「仏教
は、控えめな宗教で、他人
は、信じておくれ、信じて
せん。自分では、信じられ
は、自分では、信じられ
ダも言っています。初めは
から求め、初めは、縁
い教え、初めは、縁
遠いと感じ、初めは、縁
れ、感じ、初めは、縁
を、感じ、初めは、縁
実に心で、安んずる、委
ねられます。安心、私、委
う、感じ、私、委